



京都 細見美術館の名品

—琳派、若冲、ときめきの日本美術—

Masterpieces from the Hosomi Collection, Kyoto
Rimpa, Jakuchu and *tokimeki* Japanese Art

2024年10月5日(土)～11月17日(日)
長野県立美術館 展示室1・2・3

NOM 長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum

京都 細見美術館の名品

—琳派、若冲、ときめきの日本美術—

長野県立美術館では2024年10月5日(土)～11月17日(日)まで、企画展「京都 細見美術館の名品 —琳派、若冲、ときめきの日本美術—」を開催します。



重要文化財《金銅春日神鹿御正体》南北朝時代、細見美術館（展示期間10月5日～10月29日）

▶開催概要

多彩な日本の美を国内外へ発信し続ける京都・細見美術館。昭和の実業家・細見良（初代古香庵）に始まる細見家三代が蒐集した名品の数々は、一貫した美意識によって形成され、日本美術史を総覧する幅広い年代とジャンルにわたり、内外から高い評価を受けています。

本展では、上質なコレクションの中から厳選された重要文化財8件を含む各時代や分野を象徴する名品104件を展観します。

平安・鎌倉時代の仏教・神道美術、室町時代の水墨画や茶の湯釜、桃山から江戸にかけての茶陶や華麗な蒔絵、七宝と風俗画、さらに江戸時代絵画の中でも同館屈指のコレクションである日本美の象徴・琳派、天才絵師・伊藤若冲など、誰もが“心ときめく”美の空間へと誘う細見美術館ならではの至極の世界をご堪能ください。

▶みどころ

- 1 名品《こんどうかすがしんろくみしょうたい金銅春日神鹿御正体》（10/5～10/29展示）をはじめ、仏教美術の貴重な重要文化財8件を展示します。
- 2 宗達や光悦、光琳、抱一、其一など、世界が注目する日本美の象徴「琳派」の優美な花鳥画の世界を堪能できます。
- 3 全19件！細見美術館が所蔵する天才絵師・伊藤若冲の全作品を一堂に展観します。

▶ 展示構成

I 祈りのかたち

「神や仏に捧げられた造形にこそ真の尊さがある」とする初代古香庵の信念が細見コレクションの原点です。切なる願いが込められた仏画、美麗を尽くした荘厳具などにみる日本美術の優美さ、繊細な感性、力強さに触れていただきます。

II 数寄の心

茶の湯を通じて日本美術の普及を願った初代古香庵は、自らの美意識に従い蒐集した美術品を自在に取り合わせ、茶席で用いました。特に室町時代を主とする茶の湯釜、根来は研究にも熱を入れ、他に類をみないコレクションです。

III 華やぎのとき

日本美術の特徴といわれる「かざりの美」。近世に至ると身近な空間を彩る調度や什器、人々の衣裳に美しい意匠や精巧な技術が凝らされ、豊かな「かざり」が展開しました。ここでは蒔絵作品、貴重な七宝コレクションのほか、北斎の肉筆浮世絵を含む風俗画もお楽しみいただけます。

IV 琳派への憧れ

江戸初期の京都で誕生した美の潮流、琳派。二代古香庵によるコレクションには、本阿弥光悦（1558～1637）、俵屋宗達（生没年不詳）から近代の神坂雪佳（1866～1942）まで20人を超える作家が含まれます。それらの中から代表的な作品を選びすぐり、紹介します。

V 若冲のちから

京都・錦小路の青物問屋に生まれた伊藤若冲（1716～1800）。狩野派や中国古画などを独学で修めた後、自らの表現を追求し、独創的な絵画を生み出しました。初期の著色画から晩年の水墨画まで、充実のコレクションを通じて若冲の表現力を体感できます。



伊藤若冲《雪中雄鶏図》江戸中期、細見美術館



神坂雪佳《金魚玉図》明治末期、細見美術館

▶ 主な作家

単庵智伝、葛飾北斎、本阿弥光悦、俵屋宗達、尾形光琳、酒井抱一、鈴木其一、神坂雪佳、伊藤若冲 など

▶ 展覧会概要 「京都 細見美術館の名品 一琳派、若冲、ときめきの日本美術一」

【会期】 2024年10月5日（土）～11月17日（日）

【会場】 長野県立美術館 展示室1・2・3

【開館時間】 9:00～17:00（展示室入場は16:30まで）

【休館日】 水曜日

【主催】 長野県、長野県立美術館、SBC信越放送

【共催】 長野県教育委員会、信濃毎日新聞社

【特別協力】 公益財団法人 細見美術財団

【後援】 長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、
（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー

【協力】 ヤマト運輸

【企画制作】 毎日放送

【観覧料】 一般 1,400（1,300）円、大学生 1,200（1,100）円、高校生以下または18歳未満無料

※（ ）内は20名以上の団体料金。

※本館コレクション展及び東山魁夷館との共通料金：一般1,900円、75歳以上1,700円、大学生1,500円

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

※大学生および75歳以上の方は身分が確認できるものをご提示ください。

※割引の併用不可

▶ 関連イベント

【記念講演会】

日時：10月5日（土）13時30分～15時

会場：本館B1Fホール

講師：細見良行氏（細見美術館 館長）

定員：70名（当日先着順、受付13時～）

参加費：無料

【担当学芸員によるスライドトーク】

日時：10月26日（土）13時30分～（45分程度）

会場：本館3Fレセプションルーム

参加費：無料（事前申込不要、出入り自由）



葛飾北斎《五美人図》江戸後期、細見美術館

■ 報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4（善光寺東隣）

TEL：026-232-0052 FAX：026-232-0050 E-mail：nam-pr@naganobunka.or.jp

長野県立美術館 行 メール：nam-pr@naganobunka.or.jp FAX：026-232-0050

広報用画像申込書

「京都 細見美術館の名品

—琳派、若冲、ときめきの日本美術—

■本展覧会の広報用写真を用意しております。ご希望の写真の左欄に○をつけて、メールまたはファックスにてお申し込みください。写真はデータにてお送りします。

○をつけてく ださい	番号	画像名
	①	重要文化財《金銅春日神鹿御正体》南北朝時代、細見美術館 (展示期間 10月5日～10月29日)
	②	重要文化財《金銅透彫尾長鳥唐草文華鬘》鎌倉時代、細見美術館
	③	重要美術品 単庵智伝《煙寺晚鐘図》室町時代、細見美術館
	④	《男女遊楽図屏風》江戸前期、細見美術館
	⑤	葛飾北斎《五美人図》江戸後期、細見美術館
	⑥	神坂雪佳《金魚玉図》明治末期、細見美術館
	⑦	伊藤若冲《雪中雄鶏図》江戸中期、細見美術館
	⑧	伊藤若冲《糸瓜群虫図》江戸中期、細見美術館

●貴社についてお知らせください

 貴社名 / 媒体名 (雑誌、番組名等)

 ご担当者名 / 所属部署

 ご住所〒

 電 話 / FAX

 E-mail

ご掲載・放映の予定日があればお知らせください。 月 日 () に発行、または放映予定

※掲載紙・誌を1部ご惠贈いただければ幸いです。

広報用画像

※画像提供をご希望の場合は、別紙「広報用画像申込書」に必要事項をご記入のうえ、メール又はファックスにてお申し込みください。

①



重要文化財《金銅春日神鹿御正体》南北朝時代、細見美術館（展示期間 10月5日～10月29日）

②



重要文化財《金銅透彫尾長鳥唐草文華鬘》鎌倉時代、細見美術館

③



重要美術品 単庵智伝《煙寺晚鐘図》室町時代、細見美術館

④



《男女遊楽図屏風》江戸前期、細見美術館

⑤



葛飾北斎《五美人図》江戸後期、細見美術館

⑥



神坂雪佳《金魚玉図》明治末期、細見美術館

⑦



伊藤若冲《雪中雄鶏図》江戸中期、細見美術館

⑧



伊藤若冲《糸瓜群虫図》江戸中期、細見美術館